






ふりがな 氏名	しおみ ゆうこ	都道府県	大阪府	
	塩見 優子			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人 J A E / 理事 ・ キャリア教育コーディネーター 			
私のESD活動	地域・企業と学校、人を繋ぎ、子ども達の将来を軸に協働する仕組みをつくる事で、課題解決を促進する			
関心・活動のSDGs	   			

活動の概要

子ども達が将来展望を広げ、主体的に生き方を切り拓く挑戦の機会をつくるため、学校と企業を繋げ協働し続ける仕組みづくりを展開。主に大阪府の子ども達の自己肯定感や自尊感情の低さ、そして将来展望を描き主体的に挑戦する意欲やその後押しとなる経験・出会いが少ない事に課題を絞っている。

成果としては 2011 年より大阪府教育委員会と連携し、地域課題から生まれる負の連鎖を打破するために、小中学校の学校教育指導計画内容の更新及び教職員対象のワークショップを開催するなど、連携促進の仕組みづくりに取り組んでいる。具体的には、地域を巻き込む前の土台として、「保幼小中学校」の連携を進め中学校区を軸としたビジョンづくりや、子どもに力をつけるためのカリキュラムの見直しを進めてきた。

更に 2016 年より地元企業を巻き込み、社会に開かれた教育課程の実現に向けて動きを広げている。学校現場を安心安全なフィールドとして、子どもにとって教師以外の大人との関わりが生まれ、生き方のモデルとなる出会いを積み重ねることで、自尊心を育て主体的に生きる力を育む機会を設計。

また、地元企業と学校が協働で子どもへの授業を設計する事を通して、子どもだけではなく、企業にとっては人材育成の機会として、そして教員にとっては外部連携の機会として、関わるおとなが成長し合える仕組みを作っている。

・「NPO 法人 JAE」 <http://jae.or.jp/>

・「毎日新聞 JAE 掲載記事」 <https://mainichi.jp/articles/20160516/ddl/k27/040/234000c>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

コンファレンスに参加し、社会的課題解決に向けた教育の役割を明確にする事で、今後の協働の在り方を長期的にブラッシュアップしたいと思っています。さまざまな地域で事例が新しく生まれていますが、それが広い視点で見た時にどう繋げていけば更に効果が上がるのか具体的に整理し、可視化します。そして可視化したものを発信することで、共通した課題感や思いを持った人へのヒントとして活用したいです。コンファレンス後は報告会等のイベント設計をし、学びの発信を通して課題感の共有や協働先の拡大をめざします。

また、将来を見据えた教育の役割を見直し、参加者ともつながることで今後に向けて事例共有し合えるネットワークも拡大できたらと思っています。さまざまな事例・知恵の共有を促し、ゆくゆくは日本に限らず、世界中の教育における役割をより加速させるために、海外でのワークショップや日本の学校と海外をつなぐなど、つなぐ事で双方の課題解決を促すプロジェクトやネットワーク構築を視野に入れたいと思っています。